

<作成上の注意点（所定様式1）>

- 1 年齢の欄には、提出時点における満年齢を記入してください。
- 2 旧姓等の通称名を使用している場合は、（ ）書きで本名を併記してください。
例：通称名が山田太郎、本名が田中太郎 → 【山田（田中）太郎】
- 3 過去に旧姓で論文発表をしている場合は、（ ）書きで旧姓を併記してください。
例：本名が田中太郎、旧姓が山田太郎 → 【田中太郎（旧姓：山田）】
- 4 高等学校卒業以降の全ての学歴を記入してください。
- 5 顔写真を添付の際は、画像が荒くならないよう、解像度やサイズを調整してください。
- 6 「学位」「付記された専攻分野の名称」「学位記番号」「論文題名」を記入してください。
なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、学位記を確認の上、正確に記入してください。

例1：

令和○年3月	○○大学大学院 (博士(○○学))	○○研究科○○学専攻 (博士○○号)	（博士後期課程）修了 「博士論文題名：○○○○」
--------	----------------------	-----------------------	-----------------------------

例2：

令和○年3月	○○大学大学院	○○研究科○○学専攻 (○○大学第○○号)	（博士後期課程）単位取得後退学
令和○年9月	○○大学大学院 博士(○○学)	○○研究科○○学専攻 (○○大学第○○号)	（博士後期課程）修了 「博士論文題名：○○○○」

- 7 職歴に空欄が無いよう全ての職歴(自営業、主婦、無職等含む)も省略せずに記入してください。
- 8 各職歴について在職期間が明確になるよう、過去に従事していた職は（平成○○年○月まで）、現職は（現在に至る）と記入してください。
- 9 研究生、聴講生等は職歴欄に記入してください。
- 10 研究者としての外国留学は、研究機関の名称をアルファベットと片仮名を併記し「国名」も付記してください。
- 11 専門性や担当授業科目に関連する資格・免許等を記入してください。
- 12 教員などの資格は「教科」「免許番号」「発行元の教育委員会名」を記入してください。
教員などの資格以外も、可能な限り「発行元」「登録番号等」を記入してください。
例1：高等学校教諭一種免許状（保健体育）平○高○第○○号（○○教育委員会）
例2：幼稚園教諭一種免許状 平○高○第○○号（○○教育委員会）
例3：保育士資格 東京都ー123456
例4：健康運動実践指導者 取得 （登録番号：第123456789号）
- 13 学会及び社会における活動等の「事項」欄は、適宜「学会活動」「社会活動」「研究活動」などに小見出しをつけ、読みやすく整理してください。

＜作成上の注意点（所定様式2）＞

- | | | |
|---|------------|--|
| 1 | 研究分野 | <ul style="list-style-type: none">・平成29年度まで使用されていた科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称、又は「科学研究費助成事業審査区分表（総表）」の中区分の名称を用いて、研究分野の主なものを3つ程度記入してください。・各表に該当がない場合は、適宜記入してください。 |
| 2 | 研究内容のキーワード | <ul style="list-style-type: none">・科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の細目、又は「科学研究費助成事業審査区分表（総表）」の小区分の名称を参考に、研究内容を示すキーワードを5つ程度記入してください。・各表に該当がない場合は、適宜記入してください。 |

『教育上の能力に関する事項』

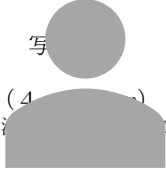
- | | | |
|---|----------------------|--|
| 1 | 教育方法の実践例 | <ul style="list-style-type: none">・実践した教育方法にタイトルを付けて事項欄に示し、概要欄に実施した「大学名・学部・学科」「授業科目名」と「実践方法の具体的内容とその効果」を記述してください。 |
| 2 | 作成した教科書、教材 | <ul style="list-style-type: none">・授業や研究指導等で使用したものについて、「使用した大学・学部・学科」「授業名」「教材の内容・効果」を記述してください。・後の「著書」「学术论文」との重複も可。その場合「再掲」と表示し、概要の記述は書き分けてください。 |
| 3 | 教育上の能力に関する大学等の評価 | <ul style="list-style-type: none">・採用決定の際等における評価内容・各大学における自己点検・評価での評価結果・学生による授業評価、教員による相互評価等の結果 等 |
| 4 | 実務の経験を有するものについての特記事項 | <ul style="list-style-type: none">・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演など・その他企業内教育、所属機関や関係機関等で行った講義、講習、講演、職員・関係者などに対する指導など |
| 5 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・学位（修士・博士）論文指導実績・学位（修士・博士）論文審査実績（主査・副査等）・担当歴のある授業科目について「〇〇大学〇〇学部における教育実績」などとして記述してください。 |

『職務上の実績に関する事項』

- | | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | 資格、免許 | <ul style="list-style-type: none">・担当予定授業科目に関連する免許について資格名を事項欄に、免許番号を概要欄に記入してください。・履歴書の免許資格等の記述と整合させてください。・学位についても記入してください。 |
| 2 | 特許等 | <ul style="list-style-type: none">・特許、実用新案等（意匠登録を含む）で、担当予定授業科目に関連するものを記入してください。 |
| 3 | 実務の経験を有するものについての特記事項 | <ul style="list-style-type: none">・スポーツ等実技指導者としての経歴、実績、資格等・舞踊、芸術作品の概要、担当した展覧会の概要等・研究会やワークショップなどでの報告・企業提携・研究開発等の担当実績・大学との共同研究・企業・団体等の役職経験 |
| 4 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・学内の役職や学内業務（学内委員会等）の経験等・論文の引用実績 等 |
| 5 | その他（指導歴） | <ul style="list-style-type: none">・スポーツ、ダンス、芸術関係等、実技指導者としての経歴、実績、資格等や、企画・担当した公演、イベント、ワークショップ、演奏会、展覧会の概要等 |
| 6 | その他（競技歴等） | <ul style="list-style-type: none">・スポーツ、ダンス、芸術関係等、本人の競技歴、出演作品、演奏会等 |

『研究業績等に関する事項』

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 共通 | <ul style="list-style-type: none">・研究等に関連する主要な業績を「著書」「原著論文」「その他の論文」「学会発表」「その他（総説、翻訳、辞典等）」の項目（小見出し）で適切に区分し、業績を発表順に通し番号を付して記入してください。 |
| 2 著書、学術論文等の名称 | <ul style="list-style-type: none">・著書は、書名を記入してください。・学術論文は、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。・査読付きの論文は、題名の後に「（査読付）」と記入してください。・学位論文は、題目の後に「（修士論文）」又は「（博士論文）」と記入してください。・総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、学会発表等の報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。・当該著書、学術論文等が外国語の場合、著書等名（共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む）は、その外国語で記入するとともに、（ ）書きで訳文を記入してください。 <p>当該著書等の概要は日本語のみで構いません。</p> |
| 3 単著・共著 | <ul style="list-style-type: none">・当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、「共著」（監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず）と記入してください。・学会発表等の場合は「単独」「共同」を記入してください。 |
| 4 発行または発表の年月 | <ul style="list-style-type: none">・当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。 |
| 5 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | <ul style="list-style-type: none">・著書は、発行所を記入してください。・学術論文等は、発表雑誌等の名称（掲載誌名）、巻・号、掲載ページ等を明記してください。・学会発表等、報告発表の場合は、学会大会名、開催場所等を明記してください。 |
| 6 概要 | <ul style="list-style-type: none">・当該著書等の概要を200 字程度で具体的に記入してください。・著書、学術論文等が、単著の場合はページ数を、共著の場合は担当部分（章、節、題名）及び掲載ページ数を明記し、著作者全員の氏名を当該著書等に記載された順に記入のうえ本人氏名に下線を付けてください。・多数にわたる場合は主要な共著者の氏名を記入してください。・本人の担当部分を抽出できない場合は、担当部分を抽出できない理由を記入してください。 |

履 歴 書				
フリガナ 氏 名	ニカイドウ ハナコ 二階堂 花子		性別	女
生年月日 (年齢)	平成3 (1991) 年4月15日		(満 33 歳)	
現 住 所	〒157-8565 東京都世田谷区北烏山8-19-1 二階堂ハイツ101号室 電 話 03-3300-2258 携帯電話 090-1234-5678 メールアドレス nichijyo@xxx.xx.jp			

学 歴	
年 月	事 項
平成22(2010)年3月	東京都立人見高等学校 卒業
平成22(2010)年4月	日本女子体育大学 体育学部 体育学科 入学
平成26(2014)年3月	日本女子体育大学 体育学部 体育学科 卒業 学士 (スポーツ科学)
平成26(2014)年4月	日本女子体育大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 入学
平成28(2016)年3月	日本女子体育大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 修了 修士 (スポーツ科学) 第000号 「修士論文題目：二階堂トクヨと〇〇〇〇〇〇」
平成28(2016)年4月	日本女子体育大学大学院 スポーツ科学研究科 博士後期課程 入学
令和2年(2020)3月	日本女子体育大学大学院 スポーツ科学研究科 博士後期課程 修了 博士 (スポーツ科学) 第000号 「博士論文題目：人見絹枝と〇〇〇〇〇〇〇〇」
職 歴	
年 月	事 項
平成28(2016)年4月	虎ノ門大学 教育学部 教育学科 非常勤講師 (平成30年3月まで)
令和2(2020)年4月	霞が関大学 健康学部 健康学科 非常勤講師 (令和3年3月まで)
令和2(2020)年4月	人見大学 体育学部 体育学科 非常勤講師 (現在に至る)
令和4(2022)年4月	二階堂大学 体育学部 スポーツ科学科 助教 (令和4年3月まで)
令和6(2024)年4月	二階堂大学 体育学部 スポーツ科学科 准教授 (現在に至る)
免許・資格等	
年 月	事 項
平成26(2014)年3月	高等学校教諭一種免許状 (保健体育) 平〇高〇第〇〇号 (〇〇教育委員会)
平成26(2014)年3月	幼稚園教諭一種免許状 平〇高〇第〇〇号 (〇〇教育委員会)
平成26(2014)年3月	保育士資格 東京都ー123456
平成26(2014)年3月	健康運動実践指導者 取得 (登録番号：第123456789号)
令和2(2020)年5月	〇〇〇〇〇〇〇〇
令和4(2022)年4月	△△△△△△△△
学会及び社会における活動等	
所属している学会	〇〇〇〇学会、△△△△学会、□□□□学会

年 月	事 項			
	「学会活動」			
平成28(2016)年4月	〇〇〇〇学会 入会（現在に至る）			
平成29(2017)年4月	△△△△学会 入会（現在に至る）			
	「社会活動」			
令和2(2020)年7月	〇〇県〇〇講習会 講師			
令和2(2020)年8月	□□県□□講習会 講師			
	「研究活動」			
令和4(2022)年4月	学術研究助成基金（基盤研究C） 「人見絹枝と△△△△△△」 研究分担者			
令和5(2023)年4月	学術研究助成基金（基盤研究B） 「二階堂トクヨと□□□□□□」 研究代表者			
賞 罰				
年 月	事 項			
令和2(2020)年9月	〇〇学会 奨励賞 受賞			
令和2(2020)年9月	□□学会 学会賞 受賞			
令和2(2020)年9月	〇〇学会 奨励賞 受賞			
現在の職務の状況				
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	担当授業科目の名称	備考
二階堂大学	准教授	体育学部スポーツ科学科	××概論、〇〇演習、□□方法論、□□演習	
人見大学	非常勤講師	体育学部体育学科	△△演習	
〇〇大学	非常勤講師	体育学部スポーツ科学科	□□方法論、□□演習	
△△大学	非常勤講師	体育学部体育学科	□□方法論、□□演習	
上記のとおり相違ありません。				
令和6年10月10日				
氏 名 二階堂 花子				

教 育 研 究 業 績 書

令和6年10月10日

氏名 二階堂 花子

研究分野		研究内容のキーワード	
〇〇学		〇〇〇〇〇、△△△△△、□□□□□	
教育上の能力に関する事項			
事 項		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
1 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2 △△△△△△△△△△		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 □□□□□□□□□□		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2 作成した教科書，教材			
1 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2 △△△△△△△△△△		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 □□□□□□□□□□		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 教育上の能力に関する大学の評価			
1 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2 △△△△△△△△△△		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 □□□□□□□□□□		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
1 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2 △△△△△△△△△△		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3 □□□□□□□□□□		平成28(2016)年4月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

5 その他（指導歴）				
1 陸上競技クリニック 講師	平成28(2016)年4月	人見絹枝杯後（主催：人見大学）に行われた陸上競技クリニックにおいて、各ブロック特有の動き作りやドリル、専門的なテクニックなどを中・高生に指導した。		
2 人見高等学校 ダンス部コーチ	平成28(2016)年4月～ 令和3年(2021)3月	コーチとして生徒の指導に携わり、第72回全国中学校・高等学校ダンスコンクールの高等学校の部において、3位入賞を果たした。		
6 その他（競技歴）				
1 第32回オリンピック競技大会 女子 800m出場 銀メダル	令和3年(2021)8月3日	第32回オリンピック競技大会（東京2020）に女子800mの日本代表選手として出場し、銀メダルを獲得した。（東京／国立競技場）		
2 第20回全国ダンスコンクール ソロ 部門 第1位	令和3年(2021)8月3日	第20回全国ダンスコンクールのソロ部門に出場し、第1位を受賞した。（東京／□□ホール）		
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1 ○○○○○○○○○○○	単著	平成28(2016)年4月	○○○○○出版社	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
2 △△△△△△△△△	共著	平成28(2016)年12月	○○○○○出版社	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
3 □□□□□□□□□□	単著	令和4年(2022)7月	○○○○○出版社	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(学術論文)				
1 ○○○○○○○○○○○に 関する検討（査読付）	単著	平成28(2016)年4月	○○○○○○○紀要 第○○巻 第○○号 P. ○～P. ○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
2 △△△△△△△△△に 関する検討	共著	平成28(2016)年12月	△△△△△△△紀要 第○○巻 第○○号 P. ○～P. ○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 本人担当部分：△△△△△△△△ 共著者：○○○○○、□□□□
3 □□□□□□□□□□の 検討（博士論文）	単著	令和2年(2020)3月	日本女子体育大学大学院	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
(その他)				
1 ○○○○○○○○○○○に 関する検討	—	令和3年(2021)8月	○○学会第○回大会 （於□□大学）	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 本人担当部分：△△△△△△△△ 共同発表者：○○○○○、□□□□
2 ○○○○○○○○○○○に 関する検討	—	令和3年(2021)8月	○○学会第○回大会 （於□□大学）	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 本人担当部分：△△△△△△△△ 共同発表者：○○○○○、□□□□
3 ○○○○○○○○○○○に 関する検討	—	令和3年(2021)8月	○○学会第○回大会 （於□□大学）	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 本人担当部分：△△△△△△△△ 共同発表者：○○○○○、□□□□
上記のとおり相違ありません。				
令和6年10月10日				
氏 名 二階堂 花子				

(日本女子体育大学所定様式3)

教員公募「応募理由書」

[illegible]

※文字サイズ等の設定は変更しないこと

※1行あたり全角40字程度を目安に記入してください